

一般社団法人山口県医師会平成25年度第18回理事会

平成25年12月19日(木) 午後5時～午後6時27分

小田会長、濱本副会長、河村専務理事、弘山・萬・田中・山縣・林常任理事、
武藤・沖中・加藤・藤本・香田・今村・中村・清水理事、山本・武内・藤野監事、
保田議長

協議事項

1 新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく特定接種に関する医療関係者の登録等について

新型インフルエンザ等対策特別措置法の制定に伴い、厚生労働省が定める特定接種（医療分野）に係る事前登録（医療機関対象分）について、山口県健康福祉部長及び日本医師会長から周知・協力要請があった。特定接種（医療分野）の登録対象者に関する基準として、診療継続計画を作成していることが要件になっている。近日に、健康福祉センターから各医療機関に対し事前登録申請の手続きについて通知される。また、各健康福祉センター等が設置する新型インフルエンザ等対策連絡協議会で、新型インフルエンザ等対策における病院、診療所の役割について検討されることになる。医療関係者の厚生労働省への登録申請が平成26年3月20日までとなっているため、本会では、各医療機関の特定接種に係る事前登録に積極的に協力すること及び1月23日に郡市医師会担当理事協議会を開催し協力依頼することを決定した。

2 平成25年度かかりつけ医認知症対応力向上研修への参加について

標記研修への参加資格について協議を行い、非医師会員についての参加も認めることとした。

3 山口県医師会禁煙宣言について

禁煙推進委員会で検討されていた「山口県医師会禁煙宣言（案）」がまとまったので担当役員から報告があり、協議の結果一部修正の上、了承された。今後、「山口県医師会禁煙宣言」として発することも併せて了承された。

4 第4回シンポジウム「会員の倫理・資質向上をめざして一都道府県医師会の取り組みおよびケーススタディから学ぶ医の倫理」について

平成22年度から日本医師会主催で、会員の倫理・資質の向上に向けた実践的な情報発信、情報交換等の場として開催されているシンポジウムである。参加適任者の推薦依頼があり、清水理事に決定した。

5 第9回医療関係団体新年互礼会について

平成26年1月11日（土）に開催する互礼会の出席（予定）者が確定し、当日の次第について協議した。

報告事項

1 第3回健康教育委員会（12月5日）

今年度の健康教育テキスト「予防接種」について内容等のチェックを行った。来年度は「COPD」をテーマにすること及び執筆者を決定した。（山縣）

2 第3回禁煙推進委員会（12月5日）

平成25年10月に会員300名を無作為に抽出して実施した「禁煙や喫煙指導に関する調査」の集計結果を報告し、本会報に掲載することに決定した。また、次年度の活動内容について協議した。（山縣）

3 医療廃棄物三者協議会（12月5日）

平成24年度電子マニフェスト統計情報の提供及び産業廃棄物の処理先の情報公開等について協議を行った。（今村）

4 国民医療を守るための総決起大会（12月6日）

医療関係団体40団体で構成される国民医療推進協議会の主催により、東京都医師会の協力を得て、国会関係者78名を含む約2,000名が参加の下に開催された。国民医療推進協議会長である横倉日医会長の挨拶後、中川・今村両日医副会長が趣旨説明をし、大久保満男日本歯科医師会長、児玉孝日本薬剤師会長からそれぞれ決意表明が行われた。その後、堺常雄日本病院協会会長が医療への過度な規制緩和に反対し、控除対象外消費税の抜本的解決と国民に十分な医療を提供するため適切な医療財源の確保を求める決議案を提案し採択された。最後に、松原副会長による「頑張ろうコール」が行われた。この大会で採択した決議の他、全国で開催されている同様の集会で採択された決議を政府・与党、関係者等に上申していく予定。

（河村）

5 産業医研修会・産業医部会総会（12月7日）

研修会では、産業医科大学教授の大和浩先生による特別講演「喫煙・受動喫煙防止対策にかかわる労働安全衛生の動向について」及び「職場における健康増進活動（喫煙対策と運動指導）」の2題が行われた。平成25年度産業医部会総会は、神徳部会長から平成24年度事業報告及び決算報告と平成25年度事業計画の説明があり、承認された。（山縣）

6 日医家族計画・母体保護法指導者講習会（12月7日）

「改正母体保護法下の研修会のあり方」をテーマに、日医母体保護法等に関する検討委員会委員による講演、(1)母体保護法指定医師指定基準モデル改正のポイント、(2)生命倫理に関するもの、(3)母体保護法の趣旨と適正な運用に関するもの、(4)医療安全・救急処置に関するもの、が行われ、その後、厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課長より行政の立場からの発言が行われた。山口県医師会においても、年度内に「山口県医師会母体保護法指定医師指定基準（規程）及び細則」の改定を行い、平成26年度から施行する予定である。（藤野）

7 損害保険ジャパンとの懇談会（12月10日）

近況情勢について意見交換を行った。（河村）

8 社会保険診療報酬支払基金山口支部幹事会（12月11日）

役員選任の認可、審査事務に関する職員の理解度の把握等について報告があった。
（小田）

9 日医認証局の運営に係る情報担当理事及び事務局担当者向け連絡協議会

（12月11日）

認証局業務を本格的に運営するための説明会として開催された。日医認証局の意義、医師資格証（ICカード）の使い方、医師資格証発行の審査体制構築についての説明と質疑応答が行われた。（藤本）

10 厚生連長門総合病院との懇談会（12月12日）

病院の現状、医師確保、診療科の偏在等について意見交換を行った。（河村）

11 個別指導「下関市」（12月12日）

診療所4機関について実施され立ち会った。（萬、清水）

12 都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会（12月12日）

日本医師会医師賠償責任保険の運営に関する経過報告に続いて、福島・香川・福岡の各県医師会から、医療事故紛争対策と活動状況の報告が行われた。その後、医賠責保険制度における「指導・改善委員会」設置についての説明と、事前に寄せられていた都道府県医師会からの質問に対する回答が行われた。（林）

13 児童生徒のインターネット利用対策会議（12月12日）

山口県教育委員会新設の会議で今回初会合である。近年の情報化社会の急速な進展に伴い問題となっているネット、いじめ等について、山口県におけるこれまでの取り組み状況が関係機関より報告があった。（濱本）

14 日医第4回地域医療対策委員会（12月13日）

厚生労働省医療・介護連携技術推進官の逢坂悟郎氏の講演及び国立病院機構福岡東医療センターの上野道雄院長と福岡県粕屋医師会の堤 啓会長による福岡県粕屋医師会についての講演「高齢化社会の医療モデル～病院情報をかかりつけ医が活用して、地域医療の向上を図る」が行われた。（弘山）

15 HIV医療講習会（12月14日）

山口県健康福祉部健康増進課母子保健・感染症班の大塚佳子主査による「山口県におけるHIV/エイズの現状と対策について」、国立病院機構関門医療センターの佐藤 穰統括診療部長による「中核拠点病院でのHIV/AIDS診療－HIV感染症に気づくポイント－」の講演及び広島大学病院輸血部の藤井輝久部長・准教授による「HIV感染症診療の現状と今後の課題」の特別講演が行われた。参加者51名。（河村）

16 勤務医部会第3回企画委員会（12月14日）

平成26年2月16日に開催する勤務医部会主催のシンポジウムについて協議した。
（中村）

17 群馬県医師会前会長鶴谷嘉武先生合同お別れの会（12月15日）

お別れの会に参列した。（小田）

18 在宅チーム医療を担う人材育成事業地域リーダー研修（12月15日）

山口県主催で萩市地域医療連携支援センターにおいて開催され、講師として「高齢者のニーズに応える在宅医療」、「多職種連携協働の今日的意義とグループワークの進め方」、「多職種ケアカンファレンス」の3講義を行った。参加者36名（うち医師2名）。（弘山）

19 衛生検査所立入検査（12月17日）

1 施設の立入検査を実施し、指摘事項に対する改善状況等の確認を行った。
（田中）

20 県民の健康と医療を考える会総会（12月17日）

山口県内の医療関係団体で構成する「県民の健康と医療を考える会」で総会を開催し、医療への過度な規制緩和反対や控除対象外消費税の抜本的解決等を盛り込んだ決議を採択した。（河村）

21 全国健康保険協会第8回山口支部健康づくり推進協議会（12月17日）

平成24年度支部別、診療種別の1人あたり医療費、保健事業実施状況等の事業概況報告が行われた。（山縣）